

埼玉親善大使・フィンドレー大学平成27年度派遣奨学生

月例報告書・12月 徳永美友

あっという間に今期の授業も終わり、冬休みが始まりました。こちらに来てから、時の流れを本当に早く感じております。次のセメスターからは学部生になるので、今のクラスでもう授業を受けることがないと思うと、非常に寂しく思います。今回の報告書では、クラスメイト、音楽のアクティビティ、冬休みについてお伝えしたいと思います。

<クラスメイト>

私が受講している集中英語コースについては9月の報告書で触れましたので、今回はクラスメイトについてお話ししたいと思います。私のクラスには、サウジアラビア・台湾・中国・インドからの留学生がおり、毎日一緒に授業を受けていました。本当にみんなフレンドリーで優しく、私たちの持つバックグラウンドは異なりますが、いつもクラスメイトとは笑い合い助け合い、素晴らしい時間を共に過ごしていました。パソコンを使う授業で、先生が一通り指示を出した後、「わからないことある？ 大丈夫？」と一人一人のパソコンをチェックしに来てくれる友人や、授業中に咳をしていたらさっとのど飴を渡してくれる友人、ご飯によく招待してくれる友人、車を持っていない私に「どこか出かけたときはいつでもいってね」と声をかけてくれる友人。緊張しがちで苦手だったプレゼンテーションも、笑顔で頷きながら聞いてくれるクラスメイトの顔を見るととても落ち着いて話すことができ、最後の授業でのプレゼンテーションも気持ちよく終わらせることができました。そんな心温かい、私の大好きなクラスメイト1人1人に対して、感謝の気持ちが溢れています。

<老人ホームでの演奏>

福井県の奨学生である小野さんとデュエットを組み、大学近くの老人ホームで、日本の曲やクリスマスの曲を含めた何曲かを披露しました（写真）。小野さんがギターとボーカルを、私がクラリネットを担当しました。曲を聞いて譜面に楽譜を起こすことも、ギターと合わせることも、全てが初めてだったので、演奏前は非常に緊張し、聞いてくれる方を楽しませる演奏ができるか本当に不安でした。当日演奏後に「素晴らしい音楽をありがとう、また来てくれると嬉しいな」という言



葉を多くの方からいただいた時には、改めてその老人ホームで演奏できたことを幸せに感じました。次のセメスターではもっとコンスタントに老人ホームで演奏を行い、より多くの人に私たちの音楽を楽しんでもらいたいです。

<冬休み>

3週間ほどあった冬休みは、オハイオ州の隣のインディアナ州に住む友人の家にホームステイさせていただきました。初めて過ごしたアメリカでのクリスマスは、素敵な二日間となりました。クリスマス前には、友人と友人の母親と一緒にアイシングクッキーを作り（写真）、クリスマスイブの日は友人の母方の家族と過ごし、夕方からは教会に出



かけました。そこでクリスマスソングの演奏を聞き、歌い、子供たちはリースを作っていました。クリスマス当日は、友人の父方の家族と過ごしました。ミートローフ、ハム、バーニャカウダ、パイ、ラザニアなどを食べ、プレゼント交換の際には、それぞれの家族が今年一年について報告し合いました。プレゼント交換のあと、子供たちが包装紙を丸めて投げ合い、大人も時々混ざっていた光景がとても微笑ましかったです。リースが置いてあるプレゼントや、赤い靴下の中に入っているプレゼント、大きなツリーなど、心がわくわくするような光景で溢れていました。家族のように迎え入れてくれた友人のおかげで素晴らしい冬休みを過ごすことができ、深く感謝しています。